

右：石垣には「雑賀（さいが・さいか）」の墨書があります。



左：施設見学 整理作業室の見学。土器の接合作業の様子を見学しています。

右：説明を聞きながら展示してある遺物を見学しています。



左・右：実際に本物の土器を手に取り土器の用途などを考えています。



左・右：拓本に挑戦しています。

8月8日（水曜日）更新 南知多町立篠島中学校で出前授業を行いました。

所長の伊奈です。

当センターのホームページをご覧くださいありがとうございます。センターの様々な活動を紹介しておりますので、今後も是非ご覧ください。

7月11日（水曜日）に南知多町立篠島中学校で『歴史を感じよう！』をテーマに出前授業を行いました。

篠島中学校は東海の松島と呼ばれる風光明媚な島の中学校です。知多半島の師崎港から高速船に乗って約10分で島に着きます。

生徒さんの数は全校で43名です。今回は1年生から3年生まで全クラスで授業を行いました。

どの学年も初めに電子黒板とスライドを使って遺跡の発掘の様子や調査方法を説明しました。生徒さんはみな初めて見る発掘の様子に興味津々のようでした。



<発掘の様子の説明>

1年生と特別支援学級では1グループ4~5人にわかれてもらい、縄文土器、弥生土器、須恵器を実際に手に取って時代順に並べるゲームをしてもらいました。グループで話し合い、授業で習ったことを思い出しながら協力して完成させていました。

一通り土器の説明をした後、縄文時代から近世までの各時代の出土遺物を間近に見てもらいました。見るだけでなく、直に手で触れてもらい、手触りや重みを感じてもらいました。また、篠島で出土する製塩(せいえん)土器にもふれ、島の遺跡についての説明もしました。





<土器並べの様子 グループで相談して完成させています。>



<縄文時代から近世までの各時代の出土遺物を説明しました。窓からは美しい海が見えました！>

その後、朝日遺跡から出土した土器の破片を使って拓本（たくほん）体験をしてもらいました。拓本とは、土器に施された文様や形を墨を使って紙に写し取る方法です。生徒の皆さんは、様々な文様の土器の中から自分の気に入ったものを選び、初めての拓本に挑戦しました。取った拓本をラミネートしてカードを作り、リボンを通して記念のしおりにしてもらいました。約2000年前の弥生時代の人々の生活の一端を直に感じ取ってもらえたのではないかと思います。



<拓本（たくほん）に挑戦中！ 本物の弥生土器を使って文様を写し取っています。>



くしおりをつくりました！ 拓本を取って、しおりにしました。 右端の土器から写し取った拓本をラミネートしてリボンを通し、しおりにしました。>

2年生と3年生も土器並べゲームを行いました。縄文土器、弥生土器、須恵器以外に、戦国時代と江戸時代の焼きものにも触れてもらい、陶器と磁器の違いを説明しました。また、江戸時代の物流について、知多地域の廻船（かいせん）が果たした役割を遺物を通して説明しました。さらに島の遺跡についても話をし、特に**篠島式製塩（せいえん）土器**については塩の作り方を考えてもらいました。



<篠島式製塩（せいえん）土器 この土器で塩作りが行われました。篠島特有の形式だとされています。*篠島港に展示されています。>

内容が盛りだくさんで、時間が足りるのか心配でしたが、生徒さんたちが集中して授業に臨んでくれたので、用意した内容全てを伝えることができました。

以下、生徒さんたちの感想を載せておきます。

「本物の土器や石器などを見るという貴重な体験ができて良かったです。」「とても考古学に興味を持てる授業でした。」「もっといろんな土器や昔のものを見たい。」「篠島でも塩を作る土器とかが出てきてすごと思いました。」「土器並べのクイズの時、みんなと協力してどの時代の土器なのかを考えました。とても楽しかったです。」「今日聞いたことを母や父に言いたいと思った。」「博物館とかでしか見られないような土器をガラス越しじゃなくて目の前で見られたことが一番印象に残りました。」

今回の出前授業で、教科書に書かれている「歴史」を直に感じてもらえることができたなら、担当者として嬉しいです。

用語解説

製塩（せいえん）土器： 海水を煮つめて塩の結晶を取り出すための素焼きの土器。愛知県では、カップ状の器に筒状、あるいは角（つ）の状の脚を付けたものが出土している。

朝日遺跡： 清須市から名古屋市にかけて広がる弥生時代の集落遺跡で東海地方最大規模を誇る。朝日遺跡から出土した遺物の中で、特に歴史的、美術的に価値がある2028点が平成

24年に国指定の重要文化財に指定されている。

当センターでは、保管している土器や石器などを使った「**出前授業**」を実施しています。ご希望があれば下記までご連絡ください。

愛知県埋蔵文化財調査センター

所在地 〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方802-24

電話 0567-67-416 F A X 0567-65-1841

第30回愛知サマーセミナーに参加しました

調査研究課の岡田です。

7月15日(日曜日)に**第30回愛知サマーセミナー**に参加しました(会場は椋山女学園中・高校)。愛知サマーセミナーとは私立中学校・高校から実行委員会が組織され、各方面で活躍する人物・機関が会場に招かれ講座を開催するというもので1988年から続いています。当センターは「朝日遺跡から出土した土器に触れる」・「拓本を取る体験をする」講座を開きました。

当日は朝から猛暑で、来場者が少ないのではないかと心配でしたが、当センターの講座にも小さな子どもさんから中学生、高校生、社会人の方まで来ていただきました。みなさん興味深そうに土器を手に取り重さを比べたり、写真を撮ったりしていました。また、弥生人が用途に合わせ、重さや厚さを変えて土器を作成していたことを知って驚かされていました。

拓本体験では本物の土器片の拓本を取り、オリジナルの葉(しおり)をつくってもらいましたが、好評で一人2枚、3枚とつくっていかれました。



実際に土器を手に取り重さを比べています。*バナナとリンゴは高杯の盛り付け例で用意したものです。



拓本が取れました。これからオリジナルの葉(しおり)にしていきます。

朝日(あさひ)遺跡 清須市から名古屋市にかけて広がる弥生時代の集落遺跡で東海地方最大規模を誇る。朝日遺跡から出土した遺物の中で、特に歴史的、美術的に価値がある2028点が平成24年に国指定の重要文化財に指定されている。

第31回埋蔵文化財調査研究会が開かれました

調査研究課の岡田です。

7月6日(金曜日)に調査センターで埋蔵文化財調査研究会が開かれました。

この研究会は近年県内で行われた発掘調査のうち、注目される成果をあげた遺跡について担当者が発表する場として、毎年7月初めに市町村の埋蔵文化財担当者が集まって開催されています。



今年下記8遺跡について発表がありました。

・ **坂津寺貝塚の発掘調査成果**

…豊橋市文化財センター 村上 昇氏

・ **船山1号墳の発掘調査成果**

…豊川市生涯学習課 天野雄矢氏

・ **天白遺跡の発掘調査成果**

…東浦町生涯学習課 楠美代子氏・鈴木香織氏

・ **マサノ沢遺跡の発掘調査成果**

…埋蔵文化財センター 永井宏幸氏

・ **畑間遺跡・東畑遺跡の発掘調査成果**

…東海市社会教育課 安津由香里氏

・ **本證寺境内の発掘調査成果**

…安城市文化振興課 植田美郷氏

・ **国史跡貝殻山貝塚の発掘調査成果**

…埋蔵文化財調査センター 成瀬友弘氏

・ **豊田市北野田C・A遺跡の発掘調査成果**

…埋蔵文化財調査センター 佐藤公保氏

そのほか、紙上報告として「平成29年度 史跡小牧山主郭地区第10発掘調査について」（小牧市）、「平成27年度 瀬戸市本地大塚古墳の調査成果」（瀬戸市文化振興財団）、「寺部遺跡 16H、17A～C区の調査」（豊田市）がありました。

報告者および研究会に参加された埋蔵文化財担当者の皆様、ご苦労様でした。

津島市 南小学校に出前授業に行ってきました

調査研究課岡田です。

7月5日に津島市の南小学校に出前授業に行ってきました。今回は朝日遺跡から出土した土器で授業を行いました。

授業は6年生2クラスを対象に行いました。前半では写真を使って朝日遺跡と弥生時代の様子を見てもらい、後半は実際に土器に触れてもらいました。「この模様からこれが縄文土器かな」「とても軽いけど何に使ったのかな」「真ん中に大きな穴が開いているけどどうして」。このような声が聞こえてきました。

今回の授業で地元の愛知県にも、誇るべき弥生文化が存在したことを知ってもらえると嬉しいです。



写真を使って朝日遺跡の説明をしています



土器を手にとっています。「これは縄文土器かな？」